

令和3年度決算

一般会計歳出

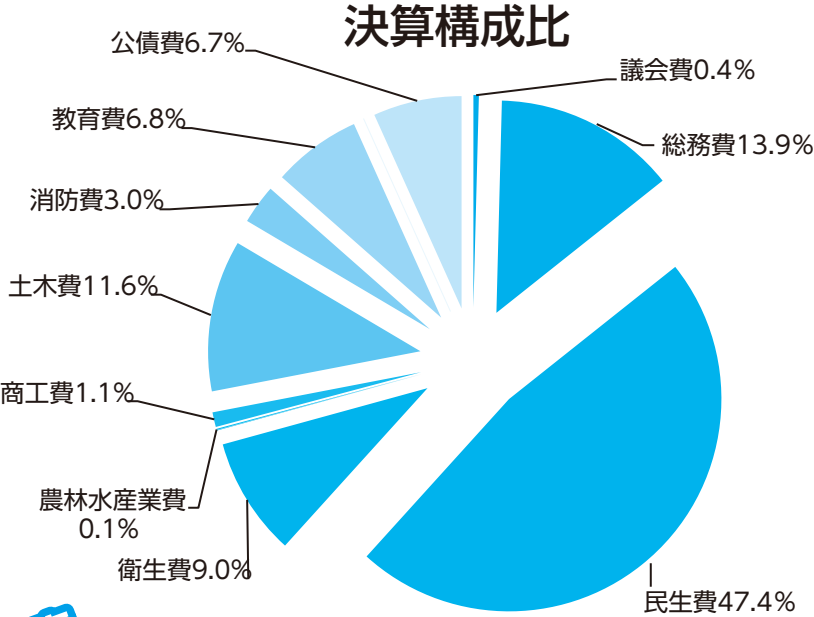
898億9,844万円

秋の決算大審査

一般会計決算特別委員会を設置し、令和3年度草加市一般会計歳入歳出決算を、4日間にわたり集中的に審査しました。一部ですが、主な内容を分かりやすくまとめましたので掲載します。

令和3年度 予算執行状況及び市民1人当たりの決算額（歳出） 単位：円				
令和4年4月1日現在 人口250,643人 世帯数121,971世帯				
歳出款別	予算現額	決算額	市民1人当たりの額	1世帯当たりの額
議会費	387,537,000	370,709,204	1,479	3,039
総務費	18,712,416,000	12,490,661,873	49,834	102,407
民生費	47,829,739,000	42,612,434,767	170,012	349,365
衛生費	9,137,943,000	8,112,243,365	32,366	66,510
労働費	35,929,000	32,906,156	131	270
農林水産業費	86,058,000	73,100,747	292	599
商工費	1,125,346,963	1,007,176,366	4,018	8,258
土木費	12,787,976,000	10,374,284,071	41,391	85,055
消防費	2,689,313,000	2,689,313,000	10,730	22,049
教育費	7,883,106,000	6,078,131,882	24,250	49,833
災害復旧費	3,000	0	0	0
公債費	6,106,758,000	6,057,478,637	24,168	49,663
予備費	25,329,000	0	0	0
歳出合計	106,807,453,963	89,898,440,068	358,671	737,048

民生費とは・・・福祉関連の費用
公債費とは・・・市の借金返済費用
歳出合計とは・・・会計年度内の支出



令和3年度
新事業!!

職員1人当たりの人口は195人 県内平均にはあと164人の職員が必要

長引くコロナ禍で担当職員残業多

ギカイの視点

問 職員1人当たりの人口及び県内平均と比較した県内順位は？

答 令和3年1月1日現在の人口25万225人に対し、令和3年4月1日現在、消防、病院及び上下水道部を除いた職員数は1,282人であり、職員1人当たりの人口は、県内平均173人に対し、草加市は195人で県内40市中7番目に多い。

問 県内平均まで引き上げるために必要な職員数は？

答 消防、病院及び上下水道部を除いた職員数として1,446人必要で、令和3年4月1日現在の職員数からあと164人必要となる。

問 職員1人当たりの年間時間外勤務が多かった上位三部署及びその時間は？

答 1位が新型コロナウイルス対策課で711時間、2位が公共建築課で567時間、3位が生活支援課で384時間。

問 残業の多い職員に対する対応は？

答 職員の健康状態を把握するために産業医または保健師による面談を実施し、面談内容に応じて所属長へ医師の意見を伝え、長時間勤務の是正や業務改善を依頼したほか、新型コロナウイルス対策課については職員の兼務発令を、その他の部署については会計年度任用職員の配置の検討を行った。

市役所デジタル化に向けAI・RPA導入 業務効率化への第一歩

ギカイの視点

問 令和3年度から導入したAI・RPA等について、主な利用所属とその活用事例は？

答 RPAについては、主に職員課、市民税課、長寿支援課、障がい福祉課、健康づくり課、保険年金課、子ども育成課、保育課、市民課及び指導課で利用され、外部から入手したデータを一括で業務システムに取り込むような作業を自動化するといった活用事例が多く、AI-OCRについては、主に庶務課、納税課、文化観光課、福祉政策課、新型コロナウイルス対策課、子ども育成課、くらし安全課、子ども教育連携推進室及び生涯学習課で利用され、紙資料等をエクセルに取り込むような処理に活用された事例が多く、

AI会議録作成については、主に総合政策課、長寿支援課、子育て支援課、都市計画課、総務企画課、指導課及び議会事務局で利用され、審議会や協議会等での会議録作成のため、会話を録音した音声データを用いて文字起こしをする際に活用された事例が多かった。

用語解説

AI：人間のような知的な情報処理をする人工知能
RPA：定型作業を、AIなどの技術を備えたソフトウェアのロボットが代行・自動化すること
OCR：紙等に印刷された文字をスキャナ等で読み込み、テキストデータに変換する技術